

報第34号

株式会社じよんのび村協会経営状況報告書

令和7年（2025年）9月5日提出

柏崎市長 櫻井雅浩

令和 7 （ 2 0 2 5 ） 事業年度
事業計画及び予算

第35期営業計画

1 基本方針

(1) 目標

株式会社じょんのび村協会は、温泉・自然・食・文化といった高柳の地域資源をいかした観光及び交流の拠点として、持続可能な地域づくりに貢献することを使命としています。

令和5年度及び令和6年度において安定した経営基盤を築いた今、令和7年度は「地域との信頼関係の深化」と「地域外からの新たな交流機会の創出」に注力し、地域と共に歩む観光経営を更に発展させてまいります。

あわせて、次世代を見据えた人材の育成と組織体制の強化にも取り組みます。現場主導で企画・運営・改善を継続できる体制を整え、地域・スタッフ・顧客との協働により、自立的に運営が循環する仕組みを築いてまいります。

(2) 営業戦略

バランスを大切にしながら、以下に掲げる営業戦略を実践してまいります。

ア 地域価値の再構築と循環型観光の深化

温泉、米、自然、囲炉裏、馬など、高柳の地域資源を一体的に活用し、「泊まる・食べる・体験する・買う」が連動した高付加価値の滞在型観光を展開します。地元農家や事業者との連携を更に深め、地域内で経済が回る循環型モデルを推進します。

イ 広域・国際市場への誘客促進と接点拡大

柏崎市内及び周辺地域との広域観光連携を強化し、首都圏や中京圏からのバスツアーや教育旅行、企業研修など多様な利用形態に対応します。あわせて、台湾やタイ等からの訪日外国人向けに、日本文化や雪国体験を軸とした体験型商品を磨き直し、海外OTAや旅行会社との連携を強化します。

ウ 自走型組織づくりと人材育成の加速

依存からの脱却を見据え、現場主導による企画・運営・改善を循環させる組織体制の構築を進めます。接客、清掃、安全管理等の基礎研修を重ね、地域スタッフ・若手人材・外部人材が役割を担いながら、継続的に運営できる仕組みを整えていきます。

(3) 事業理念

顧客のために～。

—お客様の役に立つことを考えよう—

地域のために～。

—交流・連携して、活性化へ—

未来のために～。

—持続可能な事業に取り組もう—

2 収支予算

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	255,000	134,000	121,000
入館料収入	38,000	19,500	18,500
宿泊収入	61,000	36,900	24,100
飲食収入	71,200	37,300	33,900
売店収入	40,400	19,900	20,500
ボディケア収入	3,600	1,800	1,800
その他売上収入	8,900	1,800	7,100
製造収入	3,150	1,650	1,500
マルシェ・カフェ収入	8,100	5,500	2,600
銀兵衛収入	12,750	6,550	6,200
イベント収入	7,900	3,100	4,800
売上原価	68,850	36,180	32,670
販売管理費	189,759	95,996	93,763
営業損益	▲ 3,609	1,824	▲ 5,433
経常損益	4,591	8,524	▲ 3,933

3 取組計画

(1) 施設運営体制の強化とサービス拡充

ア 全日営業の実施、営業時間の見直し

日帰り温泉部門については、年間を通じた全日営業（定休日なし）を原則とし、午前10時からの営業開始を実施します。地域住民及び観光客にとって使いやすい施設運営体制を確立します。

イ フロント、受付、厨房等のオペレーション体制構築

曜日・時間帯ごとの業務量を分析し、少人数でも安定運営できる柔軟なシフト体制と業務の最適化を進めます。

(2) 客室、施設の再整備による滞在価値の向上

ア 客室へのベッド導入と寝具環境の改善

萬歳楽宿泊棟を中心に、和室中心だった客室にマットレスベッドを順次導入し、国内外の多様な宿泊ニーズに対応します。

イ ファームハウスの内装変更

簡素な和洋折衷デザインへと内装を統一し、滞在者の満足度と視覚的魅力を向上させます。さらに、1棟をペット同伴可能な宿泊棟に転換し、新たな顧客層（ペット連れ旅行者）の受入れを開始します。

ウ 萬歳楽の「和紙の宿」化構想に着手

地元門出和紙を活用し、照明・装飾・体験プログラムに和紙文化を取り入れる「テーマ性ある宿泊棟」へのリブランディングに向けた整備を段階的に開始し

ます。

(3) インバウンド需要の取り込み

ア 観光庁事業を活用したツアー造成

観光庁「地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業」の受注による事業展開においては、タイや台湾等の訪日外国人向けに「雪国文化体験」「米づくり・田植え」「どぶろく・豆腐づくり」「門出和紙体験」などを盛り込んだ体験型ツアーを造成し、夏（9月）、冬（12月）、モニター（7月）の3回を予定しています。各回において地域住民との交流とフィードバックを反映した商品化を進めます。

イ インフルエンサーとの連携・SNS広告による海外販路拡大

SNSを活用した多言語ビジュアル広告を発信し、地域ブランドとしての認知向上と直接予約導線の強化を図ります。

(4) 広域連携と地域周遊の推進

ア 柏崎市内の観光拠点との連携強化

周辺観光地域と連携した「柏崎周遊バスツアー」の造成、旅行会社への提案を継続し、地域全体での宿泊及び日帰り誘客を推進します。

イ 自社主催又は連携型イベントの定期開催

サイクリングイベントや、新潟産業大学の協力を受けて実施した夏祭りなど、既存コラボイベントをいかしながら、再来訪のきっかけとなる年間型イベントを開催します。

(5) 人材育成と現場力の強化

ア マルチタスク型の人材配置と業務改善

スタッフの業務内容を見直し、1人が複数部門を兼務しやすいスキル教育・配置転換を進め、離職リスクを抑えながら生産性を向上させます。

イ 現場主導の運営、企画体制の強化

現場スタッフ自身が企画・運営・改善を担えるよう、日報・会議・施策ごとの評価サイクルを整備し、属人化から脱却した「運営の継続性と育成性」を確保します。

令和 6 （ 2 0 2 4 ） 事業年度
決算に関する書類

第 3 4 期 営 業 報 告

1 会 社 の 業 績

(1) 業績経過及び実績

令和 6 年度は、更なる観光需要の回復を確実に取り込みつつ、当社が掲げた以下 5 つの営業戦略を実行に移し、経営の安定と新たな成長基盤の整備を図った一年となりました。

ア 地域既存客と新規顧客

入浴回数券の販促やイベント連携、リピーター優待策を通じて地域顧客の利用を促進すると同時に、Instagram や SNS 広告を活用し、都市圏を中心とした新規顧客の来訪を促進しました。

イ 国内客とインバウンド客

柏崎花火及び長岡花火のバスツアー宿泊プランやオールインクルーシブ宿泊プランを実施しました。さらに、タイや台湾を中心に東南アジアからの訪日団体客を受け入れ、体験コンテンツを軸としたインバウンド対応を強化しました。

ウ リアルとオンラインプロモーション

イベントを継続実施しながら、Instagram 運用を強化し、SNS フォロワー数は前年度比 150% 以上となりました。

エ 収益とサービス

価格見直しとメニュー単価向上を進める一方、接客・清掃品質の向上に取り組み、顧客満足度の向上を図りました。

オ 投資（新規）と改修（既存）

老朽化箇所の修繕を順次実施しました。ファームハウスや宿泊棟の改修計画についても、段階的に整備を進めています。

これらの施策の成果を受け、当社の業績は向上しました。具体的な数値としては、総収入が 2 億 5, 261 万円（前年度比 107%）となりました。なお、当初予算比においても達成し、経常利益は 446 万円の黒字（前年度比 108%）となり、2 期連続の増収増益を達成しました。

業績の詳細等は、次表以下に記載します。

(2) 第34期実績

ア 収支実績

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	236,080	124,192	111,888
入館料収入	33,268	17,826	15,443
宿泊収入	54,790	33,798	20,993
飲食収入	65,585	34,398	31,186
売店収入	35,871	18,565	17,306
ボディケア収入	3,120	1,614	1,505
その他収入	18,900	3,036	15,865
製造収入	2,720	1,452	1,268
マルシェ・カフェ収入	6,217	4,415	1,802
銀兵衛収入	11,610	6,464	5,146
イベント収入	3,998	2,625	1,373
売上原価	62,415	33,144	29,271
販売管理費	185,092	93,713	91,380
営業損益	▲ 11,428	▲ 2,665	▲ 8,763
経常損益	4,465	6,661	▲ 2,196

(注意) 端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

イ 利用者数（宿泊）

(単位：人)

	萬歳楽（全13室）					ファームハウス（全7棟）				
	営業 日数	利用可能 室数	利用 室数	稼働率	人数	営業 日数	利用可能 棟数	利用 棟数	稼働率	人数
4月	22	286	186	65.03%	453	22	154	26	16.88%	141
5月	24	312	143	45.83%	351	24	168	32	19.05%	239
6月	26	338	145	42.90%	413	26	182	20	10.99%	114
7月	26	338	155	45.86%	382	26	182	42	23.08%	282
8月	29	377	237	62.86%	762	29	203	121	59.61%	914
9月	26	338	145	42.90%	388	26	182	27	14.84%	234
10月	26	338	185	54.73%	489	26	182	39	21.43%	294
11月	26	338	162	47.93%	435	26	182	24	13.19%	168
12月	27	351	104	29.63%	314	27	189	31	16.40%	221
1月	21	273	84	30.77%	256	5	35	8	22.86%	52
2月	20	260	80	30.77%	239	1	7	3	42.86%	21
3月	25	325	126	38.77%	293	11	77	9	11.69%	45
計	298	3,874	1,752	45.22%	4,775	249	1,743	382	21.92%	2,725

ウ 利用者数（施設）

（単位：人）

	施設利用計			入浴（楽寿の湯）			広間（やまどり）		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	8,355	7,127	117.23%	3,899	3,653	106.73%	2,089	1,459	143.18%
5月	10,812	11,170	96.79%	4,984	5,076	98.19%	2,617	1,962	133.38%
6月	9,619	7,956	120.90%	4,428	3,637	121.75%	2,048	1,437	142.52%
7月	9,076	9,374	96.82%	4,212	4,189	100.55%	2,126	1,833	115.98%
8月	12,549	11,365	110.42%	5,855	5,252	111.48%	2,984	2,198	135.76%
9月	9,395	8,545	109.95%	4,404	3,693	119.25%	2,204	1,776	124.10%
10月	9,314	9,787	95.17%	4,158	4,087	101.74%	2,179	1,764	123.53%
11月	10,473	9,462	110.68%	4,706	3,885	121.13%	2,304	1,811	127.22%
12月	7,921	7,794	101.63%	4,012	3,397	118.10%	1,539	1,323	116.33%
1月	8,618	6,752	127.64%	4,660	3,523	132.27%	2,059	1,315	156.58%
2月	6,657	8,949	74.39%	3,418	4,579	74.65%	1,414	1,552	91.11%
3月	8,334	8,355	99.75%	4,213	4,056	103.87%	1,863	1,475	126.31%
計	111,123	106,636	104.21%	52,949	49,027	108.00%	25,426	19,905	127.74%

	宴会			銀兵衛			じょんのび横丁		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	200	97	206.19%	139	199	69.85%	2,028	1,719	117.98%
5月	44	31	141.94%	494	1,297	38.09%	2,673	2,804	95.33%
6月	280	268	104.48%	538	773	69.60%	2,325	1,841	126.29%
7月	72	179	40.22%	435	893	48.71%	2,231	2,280	97.85%
8月	136	247	55.06%	701	1,110	63.15%	2,873	2,558	112.31%
9月	149	138	107.97%	457	784	58.29%	2,181	2,154	101.25%
10月	196	212	92.45%	477	1,032	46.22%	2,304	2,692	85.59%
11月	403	353	114.16%	538	956	56.28%	2,522	2,457	102.65%
12月	391	453	86.31%	331	691	47.90%	1,648	1,930	85.39%
1月	88	124	70.97%	257	486	52.88%	1,554	1,304	119.17%
2月	171	64	267.19%	297	742	40.03%	1,357	2,012	67.45%
3月	84	221	38.01%	375	727	51.58%	1,799	1,876	95.90%
計	2,214	2,387	92.75%	5,039	9,690	52.00%	25,495	25,627	99.48%

エ 参考（業績の推移）

（単位：千円）

区分	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
売上高	236,357	222,623	209,301	193,330	179,292	72,507	110,079	167,837	218,862	236,080
売上原価	86,747	84,698	82,113	75,291	70,235	22,871	33,591	45,128	58,979	62,415
売上総利益	149,609	137,926	127,188	118,039	109,057	49,637	76,488	122,709	159,883	173,664
販売管理費	152,245	151,197	145,794	136,126	136,888	78,011	116,199	153,619	170,599	185,092
営業損益	▲2,636	▲13,272	▲18,606	▲18,087	▲27,831	▲28,374	▲39,712	▲30,910	▲10,717	▲11,428
営業外損益	3,076	2,421	2,324	2,725	3,180	22,318	14,302	25,534	14,846	15,893
経常損益	440	▲10,850	▲16,282	▲15,361	▲24,651	▲6,056	▲25,409	▲5,376	4,130	4,465
当期損益	150	▲9,597	▲16,572	▲15,654	▲24,941	▲6,346	▲25,699	▲5,666	3,840	4,175

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

2 会社の概況

(1) 株式の状況

- ア 会社が発行する株式の総数 2, 8 6 6 株
 イ 発行済株式の総数 1, 2 2 1 株 (自己株主 1 株を含む。)
 ウ 当期末株主数 2 3 9 人
 エ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
柏崎市	666	54.55%
株式会社小林組	32	2.62%
株式会社村田組	23	1.88%
第四北越銀行	20	1.64%
株式会社植木組	20	1.64%
えちご中越農業協同組合	17	1.39%
米山建設株式会社	17	1.39%
大高建設株式会社	17	1.39%
有限会社永井工務店	17	1.39%
石塚酒造株式会社	16	1.31%

(2) 従業員の状況

業務	従業員数
フロント・施設管理	社員：4人 パート：17人
調理・フロア	社員：6人 パート：11人
売店・製造	社員：1人 パート：2人
人事労務・庶務・経理	社員：2人
計	社員：13人 パート：30人

(3) 取締役及び監査役

会社における地位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役	吉 村 英 治	株式会社じょんのび村協会常勤取締役
取締役	根 来 勇 人	株式会社ワールドコンパス代表取締役
取締役	政 金 克 芳	社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長
監査役	大 倉 正 大	高柳地区連合会会長

(4) 代表取締役に支払った報酬

区分	支給額	摘要
取締役	11,999,996 円	通常報酬に加え、2023年度の成果報酬を含む。
計	11,999,996 円	

(5) 株主総会・取締役会

期 日	議 件 等
株主総会 令和6年6月12日	1 第33期営業報告の件 2 第33期貸借対照表、損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件 3 任期満了に伴う取締役選任の件 4 定款一部変更承認の件 5 第34期営業計画の件
取締役会 令和6年5月21日	1 第33回定時株主総会議案の承認 2 就業規則変更の承認 3 監査役再任の件 4 営業・業務報告
取締役会 令和6年7月11日	1 令和5年度成果報酬取扱いの承認 2 営業・業務報告
取締役会 令和6年10月12日	1 株主名義変更の承認 2 営業・業務報告
取締役会 令和6年12月16日	1 株式放棄に伴う会社帰属に関する件の承認 2 非常勤役員年額報酬に関する顧問税理士との協議 3 営業・業務報告
取締役会 令和7年2月27日	1 令和7年度4月以降における水曜日営業に関する承認 2 令和7年度4月以降の入館料変更に関する承認 3 令和7年度4月以降の銀兵衛運営に関する承認 4 営業・業務報告
取締役会 令和7年3月30日	1 令和7年度4月以降の通勤手当改定の承認 2 令和7年度4月以降の社員昇給に関する承認 3 令和6年度決算速報値報告と令和7年度予算の報告 4 営業・業務報告

(6) 営業施策

主要部門別に以下の施策を実施しました。

ア 日帰り温泉（入館料）

（ア）イベント連動による来館促進

春から冬にかけて実施した体験型イベントと連動させた入浴誘導を実施しました。

（イ）入浴回数券の継続販促

昨年度に引き続き、お得な入浴回数券を販売するとともに、地域イベントでのキャンペーン価格販売も実施しました。

（ウ）営業時間・接客の見直し

館内掲示やフロント対応の改善を図り、受付対応の満足度向上に取り組みまし

た。

イ 宿泊

(ア) バスツアー宿泊プランの造成

柏崎花火及び長岡花火を中心に、旅行会社との連携による団体バスツアー宿泊プランを実施しました。

(イ) インバウンド団体の受入れ

国の補助事業を活用し、台湾やタイ等の東南アジアからの訪日団体旅行者を受け入れ、雪国体験や囲炉裏体験などを提供しました。

(ウ) 新プランの造成

銀兵衛で夕食を提供する宿泊プランやアニバーサリープランを新設するとともに、こども旅行応援キャンペーンを継続し、家族層の利用拡大に寄与しました。

ウ 飲食

(ア) 新メニュー開発

新たな仕入れ先を開拓し、日帰り客向けの食事バリエーションを増やしました。

(山菜フェア、夏の新メニュー対決、N G T 4 8 らーめん部「御麵印プロジェクト」等)

(イ) グレードアップ会席料理の販売

宿泊者用の会席の内容を更に充実させた、グレードアップ会席プランの受付を開始しました。

(ウ) 日帰りバスツアー受入強化

バスツアー用の食事プランを設定し、受け入れやすい環境を構築しました。

利用者：4 0 8 名、前年度対比：5 5 1 . 5 %

(エ) 宴会受入強化

柏崎日報への広告掲載やポスターの作成、掲示等を行い、柏崎市内及び近隣市村からの利用による宴会件数及び売上げが増加しました。

宴会売上前年度対比：1 5 3 %

エ 売店

(ア) 日常運営の安定と商品ラインナップの維持

前年度までに整備された地元農産物や加工食品の販売体制を維持しました。

特に「じょんのび田の^{でん}コシヒカリ」や地元仕入れの季節野菜は、安定した売上げを支える柱となりました。

(イ) 商品構成の見直しと効率化

売上動向を踏まえた商品構成の見直しを進め、動きの鈍いギフト商品や在庫リスクのある加工品については、陳列方法や仕入れ頻度を調整しました。限られたスペースと人員の中で、売上効率の向上を図るための改善を随時実施しました。

(ウ) P O P ・パッケージ等の表示改善

観光客への訴求力を高めるため、人気商品の価格表示、紹介文、地元産明記など、商品ごとのP O P表示を一部見直しました。特に農産物では、「吊り橋米」などのブランド要素を明示し、購入率の向上につなげました。

オ イベント(企画・販促)等一覧

4 月	・入社式（新入社員 2 名入社） ・タイフェスティバル ・山菜フェア	1 0 月	・狐の夜祭り関連イベント ・クールジャパンE X P O ・柏崎 秋の収穫祭
5 月	・じょんのびW e e k 2 0 2 4 ・田植え体験 ・レンタサイクルプラン	1 1 月	・秋まつりハンドメイドマーケット ・イルミネーション点灯イベント
6 月	・お客様感謝キャンペーン ・じょんのび和ンダーランド2 0 2 4 ・柏崎市地産地消フェア ・ホテル鑑賞ガイドツアー	1 2 月	・大晦日 イベント ・年末年始オードブル販売
7 月	・インバウンド花火プラン	1 月	・じょんのび村のお正月 ・米バーガー甲子園(最優秀賞受賞)
8 月	・じょんのびアガーデン ・盆 J O N N O B I 夏まつり	2 月	・馬の駅 馬ソリ体験 ・高柳雪まつり関連イベント
9 月	・ハワイフェス ・稲刈り体験「吊り橋米プロジェクト」 ・敬老の日感謝祭ビンゴ大会 ・ほんちょうマルシェ ・馬の駅 乗馬体験 ・オクトーバーフェスト	3 月	・雪ほりお疲れ様プラン ・残雪スノーロータリーフェア

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
【流動資産】		
現金・預金合計	23,919,409	
売掛金	4,071,535	
商品	3,922,334	
貯蔵品	1,576,055	
未収入金	3,517,164	
流動資産合計		37,006,497
【固定資産】		
【有形固定資産】		
建物附属設備	181,638	
構築物	1	
機械装置	202,617	
車両運搬具	3	
工具器具備品	4,791,848	
一括償却資産	249,228	
有形固定資産合計	5,425,335	
【無形固定資産】		
電話加入権	291,200	
ソフトウェア	720,000	
無形固定資産合計	1,011,200	
【投資その他の資産】		
出資金	30,000	
保証金	500,000	
投資等合計	530,000	
	固定資産合計	6,966,535
【繰延資産】		
繰延	950,000	
	繰延資産合計	950,000
	資産の部合計	44,923,032
負債の部		
【流動負債】		
買掛金	2,557,619	
未払費用	8,982,018	
預り金	733,428	
仮受金	12,460	
納税引当金	290,000	
未払消費税	1,298,600	
流動負債合計		13,874,125
【固定負債】		
長期借入金	40,000,000	
固定負債合計		40,000,000
	負債の部合計	53,874,125
純資産の部		
【株主資本】		
資本金	61,050,000	
資本剰余金		
資本準備金	56,700,000	
資本剰余金合計	56,700,000	
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	7,000,000	
繰越利益剰余金	▲ 133,701,093	
その他利益剰余金合計	▲ 126,701,093	
利益剰余金合計	▲ 126,701,093	
株主資本合計		▲ 8,951,093
	純資産の部合計	▲ 8,951,093
	負債及び純資産合計	44,923,032

損益計算書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

(単位：円)

経常損益の部

【営業損益の部】

【営業収益】

売上高

236,079,800

【営業費用】

【売上原価】

期首商品棚卸高

3,017,370

当期商品仕入高

63,320,331

合計

66,337,701

期末商品棚卸高

▲ 3,922,334

売上原価

62,415,367

売上総利益

173,664,433

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費合計

185,092,395

営業利益（損失）

▲ 11,427,962

【営業外損益の部】

【営業外収益】

受取利息

53,580

受取配当金

450

雑収入

16,475,113

営業外収益合計

16,529,143

【営業外費用】

支払利息

619,992

雑損失

16,416

営業外費用合計

636,408

経常利益（損失）

4,464,773

税引前当期純利益（損失）

4,464,773

法人税等充当金

290,000

当期純利益（損失）

4,174,773

販売管理費及び一般管理費内訳書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

役員報酬	12,049,996
給料手当	44,906,355
退職金	91,390
雑給	25,227,611
法定福利費	9,749,205
厚生費	1,463,384
荷造発送費	699,334
広告宣伝費	3,429,234
交際費	1,487,831
会議費	51,629
旅費交通費	2,441,382
通信費	614,150
消耗品費	7,191,094
リネン費	4,216,678
電気料	18,107,697
水道料	3,426,591
燃料料	12,845,836
ガス料	3,499,715
車両費	1,980,939
事務用消耗品費	417,169
諸会費	169,830
支払手数料	7,507,173
新聞図書費	74,724
保守管理費	4,343,351
支払保険料	324,340
支払報酬	475,000
研修費	212,410
修繕費	958,113
減価償却費	2,344,623
賃借料	1,654,991
租税公課	331,566
雑費	924,319
委託料（ボディケア委託料含む。）	11,874,735
販売管理費及び一般管理費合計	185,092,395

株主資本等変動計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

	株 主 資 本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
				別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 137,875,866	▲ 130,875,866	▲ 13,125,866	▲ 13,125,866
当期変動額								
当期純損益					4,174,773	4,174,773	4,174,773	4,174,773
当期変動額 合計					4,174,773	4,174,773	4,174,773	4,174,773
当期末残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 133,701,093	▲ 126,701,093	▲ 8,951,093	▲ 8,951,093

個別注記表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 3 1 日

I この計算書は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

II 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法

ただし、平成 1 9 年 4 月以降に取得した建物、建物附属設備、構築物は定額法

② 無形固定資産

定額法

3 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

4 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 4 1, 2 3 0, 9 6 1 円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

1 当該事業年度の末日における発行済み株式の数 1, 2 2 1 株

2 自己株式の数 1 株